

「観」住まい

観じる力

3月6日。夢木香、松尾代表を含む6人のスタッフと、会食をしながら円居(まどい)の時間を過ごさせていただいた。

夢木香スタッフの観じる力、響き合う波動が心地よかった。



場所は鹿島の山里。2年程前、夢木香が「子供たちが喜ぶ家」というコンセプトで古民家を再生させた橋爪敏さん・清さん宅。このお住まいは、第6回木の建築賞に入賞。先月紹介した今泉夫妻が、自分たちが求めていた住まいはこれだった、と心を決めたのもこの橋爪邸。いずれ改めて、このお住まいのすばらしさを紹介したい。

自然木の形をそのまま活かし、思わず「うーむ」と唸ってしまう見事な食卓で会食をしながら、話が弾んだ。

松尾さんの後輩にあたる栗山知大(ともひろ)さんは、この3月に塩田工業高校建築科を卒業。まだ18才。伯父さんが大工だったこともあるが、小さい頃から「ものを作るとが、すごく好いとったとです」と言う。

ものづくりは現場が第一。この4月から夢木香の社員として、前田棟梁に弟子入りして大工修業がはじまった時から、若い人を育てて、百年後に自分が手がけた家をメンテナンスできる会社を、と心に決めていた。知大さんの若い感性が観性へと昇華し、次の世代を育てていく。その世代が百年後のメンテナンスをするようになるだろう。知大さんの同じくラスでもう一人、京都の宮大工に弟子入りする18才がいるそうだ。とてもうれしい話だ。

林賢一郎さんは若く見えるが、「実

は、3月6日が誕生日なんです。大台(40才)に乗りました(笑) 20代はあれやったり、これやったりで、僕もものをつくるのが好きだったんで、大工をやりたい、やりたいとずーっと思ってたんですが、廻り道をしてしまっ...

30過ぎてから、38才で大工になった人の話を聞いていいなと(笑) 自分も意を決して大工修業をはじめ、建築会社に就職したんですが、道路工事ばかりやらされて(笑) 会社には大変お世話になったんですが、どうしても大工がやりたいな、と。そんな時に、『わさび』で夢木香の記事を読んだんです。ピンと観じるものがあった見学会に。松尾さんにいきなり『働かせてくれませんか?』と(笑)

去年の盆明けからお世話になってます。ええ、『わさび』が自分の一生をかなり左右してるんです(笑) 屈託のない笑顔がとてもいい。

森田りつ子さんは、夢木香からすぐのところにお住まいがある。森田さん宅は、実は夢木香の初仕事なんだ。「CADを初めて買って、森田さんのご主人と、あーでもない、こーでもないと言いながら設計したんですよ」と松尾さん。森田さんご夫妻に信頼していただいたからこそ、夢木香は順調に滑り出すことができたのだと言う。前任の増田さんが辞める時に、森田さんに声をかけたら、二つ返事で受けていただいたそう。経理事務という屋台骨を支える仕事

は、増田さんから森田さんへしつかりと受け継がれている。これも縁。

岡山出身の松井研二さんは26才。以前にいた建材会社の取引先の一社が夢木香だった。いろんな建設会社や工務店とのつき合いの中で、夢木香だけがやり方がちがっていた。うん、この会社はちがう! と観じた。「ええ、観た! 観じた! の世界なんです。自分の中で、人間の器というか、巾というか、大きく、広くすばらしくありたいという想いが強くありますね。ええ、確かに、自分の意識波動が夢木香と響き合った! 本当にそうだと思います。」

2年前に入社した和田恵利子さんの最初の現場が、この橋爪邸だった。「入社初日にここに来て、そのままずーっと完成までやらせていただきました(笑) ええ、そうなんです。以前にお話した、ご家族のみなさんが職人さんをととても大切にされていた現場というのが、ここなんです(笑) 職人さん達もこの現場には喜んで来ていただけていましたね。『ここに来るのが楽しい』とよくおっしゃってました。最初の現場として、ここを経験させていただいて、とても幸せでした。とても大切なことを、たくさん教えていただきました。」

松尾さんが偽りのない心境を語ってくれた。「残るべき家は、ご家族のお人柄ですね。その代だけじゃなく、そこに

関わる人たちが全部つながるもの、そういう何かを持っていらっしやる。この橋爪さん、八戸の井手さん、みなさんから、本当にいい勉強の機会を与えていただいているんです。」

五感の知覚を超えたところで観じる、観る、直観する。縄文人は、この観じる力を土器の文様に鮮やかに結晶化している。

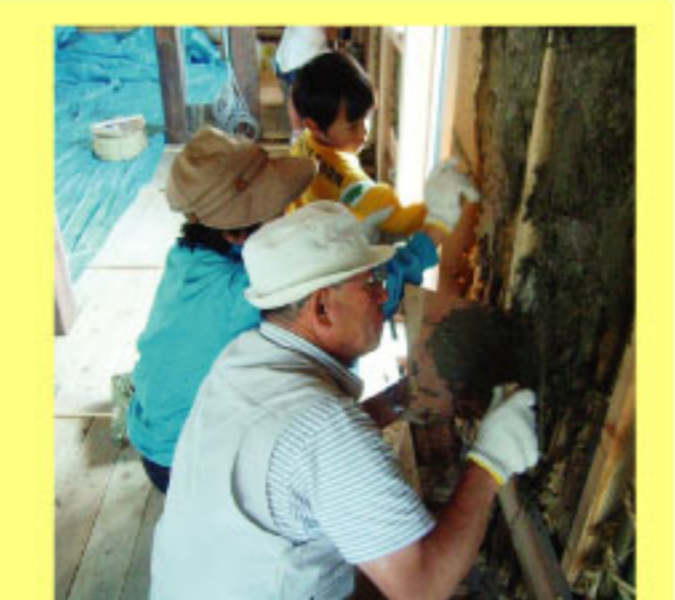
土器に刻まれた縄目。二本の縄を180度ずつ反転させながら繰り返り合わせていく。メビウスの帯の180度の捩れ(立体交叉・三次元性)が意味するものは、表と裏は一体(両性具有・相対性)であるという認識に他ならない。この認識は、安藤昌益(1703~1762)が万物を対立物の統一として捉え、「天地にして一体、男女にして一人、善悪にして一物、『凡て二用ニシテ一真』なる自然の妙道」と説いた認識につながる。

縄文人は、しめ縄文様にメビウスの帯、つまり「同質でありながら異なる二者の合体によって新しい生命が生まれる」という生命誕生の原理、宇宙創生の原理、そして円環の連鎖による運動の永久性を読み取っていた。縄の断面図は●。つまり大極図。すべてはつながったひとつであるという縄文人の宇宙認識は深い。

日本家屋の伝統構法は、正にこの宇宙律とピッタリと重なっている。伝統構法による本物の家づくりを取組んでいる夢木香スタッフ。その観じる力は強く、気づきは深い。

「古民家再生 子どもたちが喜ぶ家」
 NPO木の建築フォーラム主催「木の建築賞」をおかげさまでいただくことができました!!!
 NPO木の建築フォーラム <http://www.forum.or.jp>

設計・施工 **ゆめきこう**
 有限会社 **夢木香**
 ☎0120-835-832
<http://www.yumekikou-happy.com>
 e-mail: yumekikou@globe.ocn.ne.jp
 TEL 0954-69-8333 / FAX 0954-69-8334
 佐賀県鹿島市大字三河内甲 2487
 日本民家再生協会正会員



壁塗り体験&構造見学会
<http://www.yumekikou-happy.com>
 伝統工法の壁塗り体験しませんか!
 親子で、友達と参加してみませんか。
日時 4/11(日) 10:00~17:00
場所 佐賀県佐賀市東与賀町
参加費 無料
持参品 手袋、よごれて良い服装
 参加申込は夢木香まで
☎0120-835-832(携帯可) TEL 0954-69-8333